

\\ 10分でわかる！ //

## 2022年12月IAASBボード会議



### 【説明者】

大生川 輝正（当協会研究員）

永田 滋（当協会研究員）

井坂 久仁子（当協会研究員）

# IAASBのスケジュール（2022年～2025年）

| プロジェクト名                 | 2022年 |     |     |      | 2023年 |     |      |     | 2024年 |     |      |     | 2025年 |      |      |     |
|-------------------------|-------|-----|-----|------|-------|-----|------|-----|-------|-----|------|-----|-------|------|------|-----|
|                         | Mar   | Jun | Sep | Dec  | Mar   | Jun | Sep  | Dec | Mar   | Jun | Sep  | Dec | Mar   | Jun  | Sep  | Dec |
| LCE（複雑でない企業）の監査基準       |       |     |     | ★ ED |       |     |      | 承認  | PIOB  |     |      |     |       |      |      |     |
| 監査証拠（ISA 500）           |       |     | ED  |      |       |     |      |     |       | 承認  | PIOB |     |       |      |      |     |
| 不正（ISA 240）             |       |     |     | ★    |       |     |      | ED  |       |     |      |     | 承認    | PIOB |      |     |
| 継続企業（ISA 570）           | PP    |     |     | ★    | ED    |     |      |     |       |     |      |     |       | 承認   | PIOB |     |
| 上場企業及びPIE（社会的影響度の高い事業体） | トラック1 | ED  |     |      |       | 承認  | PIOB |     |       |     |      |     |       |      |      |     |
|                         | トラック2 | PP  |     | ★    |       |     |      |     |       | ED  |      |     |       | 承認   | PIOB |     |
| サステナビリティ情報の保証           |       |     | PP  | ★    |       |     | ED   |     |       |     |      |     | 承認    |      |      |     |
| 2024年から2027年の戦略及び作業計画   |       |     |     | ★ ED |       |     |      | 承認  |       |     |      |     |       |      |      |     |

※ PP：IAASBボードでのプロジェクト・プロポーザルの承認

ED: IAASBボードでの公開草案又はコンサルテーション・ペーパーの承認

承認：IAASBボードでの最終承認予定

PIOB：PIOBによる最終承認予定

# 1 LCE（複雑でない企業）の監査基準

## プロジェクトの概要

- 複雑でない企業（Less Complex Entities : LCE）向けに、ISAと同じ保証水準の国際監査基準をISAとは別個に作成するプロジェクト
- 2021年7月に公開草案が公表され、2022年1月31日までコメントが求められていた。

## 12月ボード会議の審議概要

- ISA for LCEのうち「グループ財務諸表の監査」に係る部分の公開草案が承認
- 公開草案の意見募集期間は90日間（通常は120日間）
- その他、以下の項目について議論が行われた。

- ▶ 「リスクの識別と評価」
- ▶ Authority(規範性/基準の適用範囲) 内の定量基準
- ▶ その他のトピックに関する今後の進め方

## タイムライン

2022年1月31日：公開草案コメント期限

2022年6月：ボード審議

2022年9月：ボード審議

2022年12月

ISA for LCEのうち「グループ財務諸表の監査」部分の公開草案審議

公開草案の公表：2023年1月予定  
コメント期限：2023年4月予定

2023年12月

最終基準承認予定

### プロジェクトの概要

- 近年発生した様々な大型会計不正事件を受けて、一部の国では財務諸表監査における不正及び継続企業に関する監査人の役割及び責任について疑問が呈され、独自の対応が進められている。

### 12月ボード会議の審議概要

- 不正タスクフォースより、以下の項目に関する見解が示され議論が行われた。
  - ▶ 監査人が識別した不正及び不正の疑いに対する監査人の対応
  - ▶ 不正に関する監査報告書の透明性
    - 監査報告書で伝達すべき識別した不正リスクを決定するための仕組み
    - 識別した不正リスクと監査人の対応の監査報告書への記載方法
    - 財務諸表の不正の防止及び発見に関連する識別した内部統制の重要な不備の取扱い

### タイムライン

2021年12月：プロジェクト・プロポーザル承認

2022年6月：ボード審議

2022年9月：ボード審議

★ 2022年12月 ボード審議 

2023年12月 公開草案承認予定

2025年3月 最終基準承認予定

## 継続企業

### プロジェクトの概要

- 近年発生した様々な大型会計不正事件を受けて、一部の国では財務諸表監査における不正及び継続企業に関する監査人の役割及び責任について疑問が呈され、独自の対応が進められている。

### 12月ボード会議の審議概要

- 以下の項目への対処について、継続企業タスクフォースの見解が示され、議論が行われた。

- ▶ 企業外部からの情報
- ▶ 監査技法

- また、以下の項目について前回ボード会議からの変更点について議論が行われた。


- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| ▶ 用語                | ▶ 継続企業の評価に関するタイムライン        |
| ▶ リスクの識別と評価         | ▶ ガバナンスに責任を有する者とのコミュニケーション |
| ▶ 継続企業の前提に関する経営者の評価 | ▶ パブリックセクター特有の考慮事項         |
| ▶ 職業的専門家としての懐疑心     | ▶ 監査報告書における継続企業に関する透明性     |

### タイムライン

2022年3月：プロジェクト・プロポーザル承認

2022年6月：ボード審議

2022年9月：ボード審議

★ 2022年12月 **ボード審議** 

2023年3月 **公開草案承認予定**

2025年6月 **最終基準承認予定**

## 上場企業とPIE（社会的影響度の高い事業体）

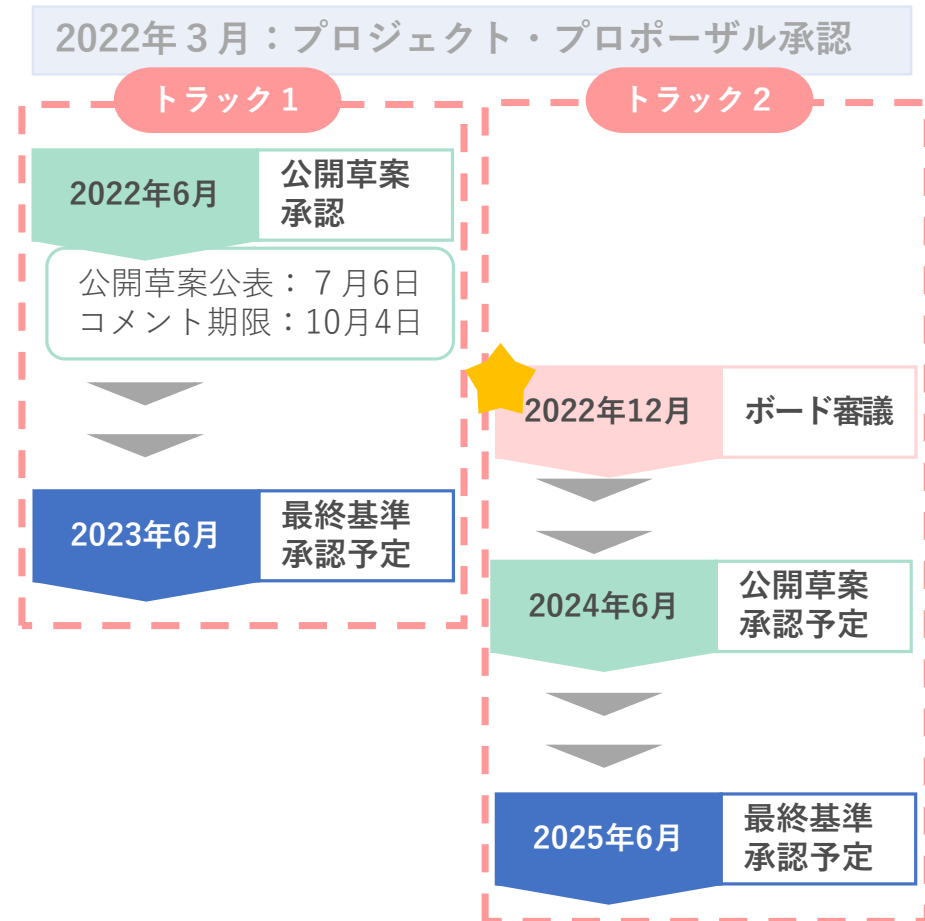
### プロジェクトの概要

- 国際会計士倫理基準審議会（IESBA）の「職業会計士のための国際倫理規程（国際独立性基準を含む。）」（IESBA Code）における「上場企業(Listed Entity）」及び「社会的影響度の高い事業体(Public Interest Entity）」という用語の定義を検討するプロジェクトを受けた対応である。
- トラック1：特定の事業体(PIE等)の追加の独立性の要求事項を適用した場合の監査報告書における開示を検討する。
- トラック2：トラック1以外の項目。

### 12月ボード会議の審議概要

- トラック2に関して、以下の議論が行われた。
  - ▶ 国際品質マネジメント基準（ISQM）及びISAの特定の事業体に対する差異のある要求事項の設定の目的及びガイドライン
  - ▶ 企業の公共の利益の程度を評価するための要素と事例
  - ▶ ISQM、ISA及び用語集へのIESBAのPIE及び公開取引企業(publicly traded)の定義の採用

### タイムライン



# 5 サステナビリティ情報の保証（1）

## プロジェクトの概要

- サステナビリティ/ESG報告の**包括的な保証基準**を開発する プロジェクト（名称案：国際サステナビリティ保証基準（ISSA）5000「サステナビリティ保証業務の一般的要求事項」）

## 12月ボード会議の審議概要

- サステナビリティ報告の包括的保証基準（ISSA 5000）の**開発指針（Guiding Principles）**及び**具体的な一部の文案**（次スライド参照）の検討が開始している。
- 開発指針（案）**

| ISSA 5000に含まれるもの                                     | ISSA 5000に含まれないもの                    |
|--|--------------------------------------|
| 優先6項目*に対処するもの  | 教育文書的な説明                             |
| 包括的基準にとって適切なもの<br>→全ての主題、フレームワークに共通のもの               | サステナビリティの特定の主題、特定のフレームワークの視点         |
| 適用指針のうち、「 <b>なぜ（why）</b> 」、「 <b>何（what）</b> 」を説明するもの | 適用指針のうち、「 <b>どのように（how）</b> 」に対処するもの |
| 一貫した基準の解釈や適用の助けとなるものだけ「 <b>定義</b> 」に含める              |                                      |

\*優先6項目：①限定的保証と合理的保証の差異、②規準（criteria）の適切性、③保証業務の範囲、④証拠、⑤内部統制、⑥重要性

## タイムライン

2022年1月：リサーチ活動開始

2022年6月：ボード審議

2022年9月：プロジェクト・プロポーザル承認

★ 2022年12月 **ボード審議** 

2023年9月 **公開草案承認予定**

コメント期限：2024年2月予定

2024年12月  
～  
2025年3月 **最終基準承認予定**

## (参考) ISSA 5000の構成 (案)

12月ボード会議では、ISSA 5000の一部の文案が示され、19の質問項目について議論された。(★印の項目)

序文

範囲

適用日

目的

定義★

要求事項

Part 1: 本ISSAに準拠する保証業務の実施

Part 2: 基礎的概念、一般原則及び包括的要求事項★

Part 3: 保証業務の新規契約及び更新★

Part 4: 証拠と文書化★

Part 5: 計画★

Part 6: 重要な虚偽表示リスク★

Part 7: 評価した虚偽表示リスクへの対応

Part 8: 結論★

Part 8.1: 虚偽表示の集計と検討★、Part 8.2: 適用される規準の説明の評価★

Part 9: 結論の形成及び報告

用語の定義から「Performance Materiality (手続実施上の重要性)」が削除された。  
→用語の定義に含めるべきではないか？

情報のAggregation (集約) 及びDisaggregation (分解) の考え方が示された。  
重要性の決定やリスク評価の段階では、分解された開示情報を前提とし、虚偽表示の評価の段階では、集約された開示情報とする、等。

「Significant Risk (特別な検討を要するリスク)」の考え方を含まない。→多くのボードメンバーからの懸念あり。



## 2024年から2027年の戦略及び作業計画

### プロジェクトの概要

- IAASBにおける2024年から2027年までの新しい戦略及び作業計画を策定するプロジェクト

### 12月ボード会議の審議概要

- コンサルテーション・ペーパー (CP)の公表を承認
- 進行中のプロジェクトがおおむね2024～2025年に完了することを踏まえ、2024年に1件、2025年に2～3件、2026年に1～2件の新規プロジェクトの開始が見込まれる。
- 開始される可能性のある新規プロジェクトは以下のとおり。

#### 監査及びレビュー

- 重要性 (ISA320の改訂版)
- 重要な虚偽表示のリスクの評価への対応 (ISA330の改訂版)
- 監査証拠関連 (ISA500シリーズ) の監査証拠 (ISA500の改訂版) との更なる連携及びテクノロジーの進歩への対応
- 監査人の専門家の作業の利用 (ISA620の改訂版)
- 中間財務情報のレビュー (ISRE2410の改訂版)
- 共同監査

#### サステナビリティ及びその他の保証業務

- サステナビリティ報告の保証のための更なる複数の基準
- XBRLに関する保証

### タイムライン

2022年9月：ボード審議

2022年12月

コンサルテーション・ペーパー承認

CP公表：2023年1月予定

コメント期限：2023年4月予定

2023年12月

戦略及び作業計画承認予定

●● 信頼の力を未来へ  
jicpa

◆ 日本公認会計士協会